

科目名	舞踊・演劇実習Ⅱ	形態	実習	開講期	秋学期
担当教員	秀 和代	単位	1	年次	2

＝授業科目の目標＝

自分の身体の個性を知る。身体と筋肉の働きを理解し認識することから始まり。動きへと繋げる。呼吸と身体のあり方、心と言葉が表現に繋がり、とりまく環境（空間）によって生み出される独自の表現を認め、各自の能力を高めていく。舞台人の基本的マナーを身につけ、人間力の向上を目指す。

＝履修の条件と学習の方法＝

自由に動ける衣服（伸縮性のあるもの）着用。ダンスシューズ or 素足

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 ストッレチ、柔軟運動、呼吸法。
- 3回 立つ、歩く等、日常生活での動きから自分の身体への気づきを認識する。
- 4回 回る、走る、跳ぶ等、日常生活では行わない動きの確認。
- 5回 3, 4の動きを発展させ、さまざまな動きを組み立て、認識する。
- 6回 感情を伴う動きの多様性を確認する。
- 7回 6の続きとしてのさまざまな動きを組み立てる。
- 8回 言葉を連ね、動きに繋げる。
- 9回 自身の内面からわきをおこる感情を動きにかえる。
- 10回 さまざまなシーンでの想像力の開発。
- 11回 想像した心情を身体で表現する。
- 12回 身体表現を客観的にみる訓練。
- 13回 総合的な身体表現への挑戦（1）。
- 14回 総合的な身体表現への挑戦（2）。
- 15回 表現者としての身体能力の可能性と個性の再確認。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

評価方法…出席状況と身体の技術・表現力に問題がなければA評価。欠席・遅刻が多すぎる時はB評価。授業を妨害 or 目にあまる行動をした時はC・D評価もある。

評価の基準…実習の中での積極的な授業姿勢、自身の能力を貪欲に磨こうとする努力ある姿勢から生まれる習得した能力を判断する。

＝テキスト（必携）＝

特になし